

IoT導入 ワイディング・ロード

IoTに関心はあるものの、自社にどう導入すればいいのかわからない...という方に向けて、IoT導入企業の活用事例を紹介してきた当企画。今回は特別編として、当所開講の「DX経営塾」受講企業に注目。IoT導入の軌跡をワイディングロード(曲がりくねった道)として紹介します。

START!

STEP
01

~2024.6

社内体制強化のため
臨んだ、DX経営塾

株式会社Soilookは成分可視化

カメラシステムの研究開発、サービスを提供する企業。創業当初、同社ではグループウェア等のITツールは最小限に抑え、無償ツールを中心に使用していました。創業5年目を迎えるに当たり、高い専門性を有した人材を集めるためにもメンバーたちの社外業務の幅を広げ、活動場所の制約を軽減する必要性を感じるように。また、フリーランスエンジニアや業務提携先等との連携を円滑にし、健全かつ効率的な事業運営を行うためにも社内管理体制強化へ取り組むことを決め、2024年度開催の「DX経営塾」に参加しました。

STEP
02

2024.7~

DXへの前向きな姿勢が
メンバーたちにも見られるように

「DX経営塾」の講義内容は逐一

メンバーと共有し、ツールやシステムの試験運用を開始しました。「メンバーの中からも運用に関する意見が少しずつ出てくるように。全社で前向きにDXへ取り組み姿勢が見られるようになって嬉しかったです」と西藤代表取締役。

2024年末にはチーム連携を強化するため、もともと活用していたクラウド型グループウェアを有料版へ移行し、基幹システムとしての運用を始めました。アクセス制限が細かく設定できるようになったことで意図せぬ情報漏洩のリスクを軽減しています。

導入ツール

クラウド型グループウェア
Google Workspace など

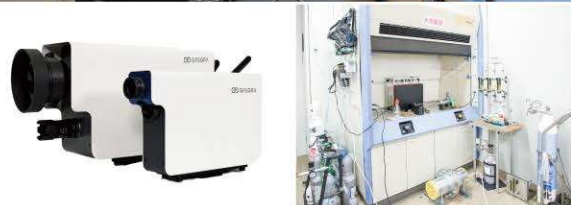
業務効率化

【導入ポイント】

- コストを抑えながら
基幹システムとして
活用できる
- 個人・中小・大手企業
問わず、活用している
ところが多い



詳しくはこちら



株式会社Soilook(ソイルック)

〒761-0301
高松市林町2217-44
ネクスト香川205号
URL: <https://soilook.com>

ホームページ



香川大学発のスタートアップ企業。赤外線分光技術を用いて「見えないガス」を可視化し、デジタル技術を使ってガスプラントなどの定期検査の負担を減らす事業を展開している。

STEP 03

2025.1~

成長段階に合わせたシステム体制方針が確立 優先順位を決めながらDXを進める

全セミナー終了後には企業成長段階に合わせたシステム体制方針が見通せるようになりました。現在は「お客さまも社内も連携企業も安心・安全で効率的に！」というスローガンのもとにDXを進めています。「システムやツールの導入に当たっては当社よりも先の成長フェーズにいる方々から積極的に情報やアドバイスをいたいただき、その上で優先順位を決めながら導入することを意識しています」と西藤代表取締役。

2025年夏には人やプロジェクト等のマッチング機能を備えた顧客管理システムを導入。現在はテスト運用中ですが、将来的には蓄積データを活用することで見込み顧客の獲得、育成、営業連携まで一連のマーケティングプロセスを自動化し、データに基づいたスピーディーな経営判断につなげたいと考えています。

導入ツール

Edison Match

顧客管理CRM

【導入ポイント】

- スモールスタートでCRMが導入できる
- 将来的に導入を予定しているSalesforceへのデータ移行が可能



詳しくはこちら

+αの効果も

NotebookLMなど

AI関連ツールはこう使っている

AIそれぞれの強みを活かし、業務へ活用中。補助金申請書類等の専門性が高い文章作成が可能になった。実際に補助金が採択され、新拠点整備の資金として使うことができています。



STEP 04

2025.3~

地方の自律分散型の 若手エンジニアコミュニティを設立

「DX経営塾」での経験をもとに香川県のものづくりスタートアップ企業をDX面で支える自律分散型コミュニティ「一般社団法人かがわDXモデル研究所」を設立。20代〜40代若手エンジニアを中心としたコミュニティで各人の得意分野を活かしたDXセミナー、組織規模や成長段階に合わせたDXモデルの提案を行っています。「コミュニティを通じた活動や話し合いは当社の事業、DX等の貴重な情報収集源にもなっています。今後はさらにコミュニティを広げ、関係人口を増やしていくことで香川県の地域活性化の一助になればと考えています」と西藤代表取締役。

vision 長期ビジョン 今後の展望

当社は創業5年の節目を迎えたところ。「DX経営塾」に参加してDXへ本格的に取り組むようになってからは遠隔地での働き方を増やす仕組みづくりが順調に進んできています。今後はさらに外部エンジニアたちとの連携を強化して当社の成長へとつなげていきたいと考えています。また、長期的な展望としては社内データを集約させ管理し、スピード感を持った意思決定を行っていきたくです。

株式会社 Soilook
代表取締役

西藤 翼 さん

企業成長段階に合わせてテスト運用を行いながらフレキシブルにDXを進めている同社。
「DX経営塾」での学びがきっかけになったと思うと嬉しいです。(担当M)